

運輸・自動車部門 3						
削減手段	エコドライブの推進					
内容・算出根拠	<p>アイドリングストップなどのエコドライブの実施により、自動車の燃料消費量を13%削減（都市部においてはアイドリングストップの実施により13.4%の燃料消費削減が達成されたという(財)省エネルギーセンターの調査結果がある）。ただしハイブリッド自動車は対象外とする。</p> <p>10・15 モード燃費を小型車 14km/ℓ、軽自動車 24 km/ℓとし、実効燃費を70%とする。</p> <p>年間走行距離を5,160km とする(自動車工業会「乗用車市場動向調査」 H16) ガソリンのCO<sub>2</sub>排出係数: 2.32 kg-CO<sub>2</sub>/ℓ</p>					
削減量単位	<p>2010年まで: 小型自動車 0.16 t-CO<sub>2</sub>/台・年、軽自動車 0.11 t-CO<sub>2</sub>/台・年、～2020年: 小型自動車 0.14 t-CO<sub>2</sub>/台・年、軽自動車 0.10 t-CO<sub>2</sub>/台・年、～2030年: 小型自動車 0.13 t-CO<sub>2</sub>/台・年、軽自動車 0.09 t-CO<sub>2</sub>/台・年</p>					
導入コスト	なし					
費用削減額	ガソリン代削減額: 小型自動車 8,200 円/年、軽自動車 3,400 円/年(ガソリン小売価格: 120 円/ℓ)					
CO <sub>2</sub> 削減コスト	削減コストはマイナスである。					
対象	全乗用車(アイドリングストップ機能のあるハイブリッド自動車を除く)、ただし、2010年以降はアイドリングストップ機能装着車が普及すると想定。					
目標	2010	対象車両の10%	2020	対象車両の30%	2030	対象車両の80%
車両数		1,990 台		4,461 台		7,983 台
CO <sub>2</sub> 削減量		282 t-CO <sub>2</sub>		541 t-CO <sub>2</sub>		772 t-CO <sub>2</sub>